

「炎症性腸疾患外来」始めました。

虎の門病院本院の消化器内科では、「炎症性腸疾患外来（IBD 外来）」を始めます。
分院では今後始める予定です。

虎の門病院本院では 2021 年 10 月 6 日水曜日より

毎週水曜日 9 時から 11 時まで行います。

近年、急増する“潰瘍性大腸炎”、“クローン病”、“腸管型ベーチェット病”などの炎症性腸疾患の患者さんの治療を通じて、生活の質の向上の手助けになればと考えております。

20 代から 40 代の若い世代に発症し、上手につきあっていかなければならない炎症性腸疾患は、高齢化にともない 60 代や 70 代に発症する患者さんも増加しており、患者さん年代も幅広くなっております。

進学、就職、結婚、妊娠・出産、育児・教育、転勤・転職、退職など様々な生活環境の患者さんに対応するべく、通院治療を中心に、内視鏡検査のみでなく、血液や便を用いたバイオマーカー、腹部エコー検査や MRI 検査、カプセル内視鏡検査など、負担の少ない検査も行っております。

診療所やクリニックの先生方に置かれましては、寛解導入や寛解維持に難渋する IBD 患者さんがいらっしゃいましたら、お気軽に相談・紹介ください。

問い合わせ先

虎の門病院（代表）03-3588-1111

メールアドレス amatsui@toranomom.jp

2021 年 10 月吉日

炎症性腸疾患外来担当 虎の門病院 消化器内科 医長 松井啓
部長 菊池大輔
部長 布袋屋修